



2012.6
第130号

まほろば

「看護の日」—地域とのふれあい

みなさんは「看護の日」をご存じですか。毎年5月12日は「看護の日」。そして、12日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」です。

看護の心・助け合いの心を誰もが育むきっかけとなるよう、1990年、旧厚生省により近代看護を築いたナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に「看護の日」が制定されました。この日は看護に関係する行事が全国各地で開催されます。

当院でも、地域住民の皆さんに気軽に看護や病院内のいろいろな部門にふれていただける楽しいイベントを初めて病院外（イトーヨーカドー弘前店）で開催しました。

各種測定コーナー（血圧・脳年齢・身長・体重・体脂肪）、相談コーナー（食事・お薬）、リハビリ体験、お子様白衣体験撮影コーナー、風船や記念品の配布、当院紹介パネル展示など、内容は盛りだくさんで

す。測定コーナーの脳年齢測定には行列ができるほどの盛況ぶりでした。また、白衣を着て恥ずかしそうにポーズをとるお子様たちと、撮影する親御さんたちの笑顔も印象的でした。

初めて病院外で一般の方々と接し、健康に対する関心の高さをあらためて知る機会となりました。今後も診療を中心に、定期的に行っている市民健康講座など、いろいろな活動を通して、地域の健康増進に向けてわたしたちに期待されている役割を果たしていきたいと考えています。

今年ご参加いただけなかった方も来年はぜひご参加ください。より楽しいイベントを企画してお待ちしています。



副看護師長：対馬 春子

弘前病院に赴任して



このたび、4月1日付けで弘前病院へ赴任しました古川でございます。皆様どうぞよろしくお願ひ致します。

平成元年に弘前の地を離れ、これまで8病院で勤務いたしました。

弘前病院では、がん・成育医療、医師臨床研修、地域医療など積極的な取り組みがなされ、今年で創立

115年になります。このような長い歴史を持つ弘前病院で再び勤務させて頂くことになり、より一層責任を感じているところです。

専門職業人として看護の倫理綱領を常に行動指針とし、質の高い看護が提供できるよう今後も取り組んでいきたいと思ひます。

看護部長：古川 恵子

看護の日 院内イベント

今年も看護週間は、外来玄関付近と各病棟にお花を飾り、スタッフも胸元に赤い花をつけてケアにあたりました。

また今年初の試みとして、看護の日を記念してミニコンサートを開催することになりました。コンサートは弘前大学アカペラグループ「V. E. L」(ベル)の皆さんが快く引き受けてくださり、5月11日(金)午前、院内合計7カ所をまわるといふスペシャルなミニコンサートが決定しました。

「V. E. L」(ベル)の皆さんが、男女のグループに分かれて各病棟でのミニコンサート。明るく伸びやかで迫力ある歌声に、われわれスタッフも聴き入ってしまいました。

患者様はというと、開演前からずっと会場の椅子にかけて待ってくださった方、歌声に思わず涙ぐんだ方、笑顔で手拍子や惜しみない拍手をくださった皆さん。

各病棟の食堂フロアを会場とし、15分と



いう短いステージでしたが、病室のベッド上にいらっしゃる患者様もふくめ、たくさんの方に癒しと元気をお届けできたのではと思います。

彼らの凄いところは、一つの楽曲の楽譜から作り、音(声)として重ねてコーラスに仕上げていること、そして何よりも歌うことを「楽しんでいる」様子がありありと伝わってくることです。

今回のコンサートのために、多忙な中時間を調整練習してくださったこと、弘前病院の患者様に元気と癒しを届けようと一生懸命想ってくださったこと。本当に感謝しています。

最後に弘前大学アカペラグループ「V. E. L」の皆さんを紹介したいと思います。島武史さん、大野優介さん、中野雄登さん、高橋厚史さん、鈴木勇輝宏さん、阿部好さん、工藤優美さん、坂本唯さん、大久保友賀さん、吉田里帆さん、原田聡子さん

本当にありがとうございました。

副看護師長：下山 美智子

さくらの次は！ -弘前りんご花まつり-



「弘前さくらまつり」も終わりを迎えようという5月6日(日)、弘前りんご公園において「弘前りんご花まつり」が開催されました。

まつり終了の5月20日(日)までの毎日、最近はずっかり全国区になったりんご娘のライブや津軽三味線演奏などのイベントが行われました。週末には、ねぶた運行・ミニSL運行あり、「わさ

お」来園あり。今年初めての試みとして、夜間のライトアップも行われ、可憐なりんごの花々が、より美しく照らし出されていました。

圧倒的なボリュームの桜は勿論ですが、清楚な趣のりんごの花もまた見応え十分。遠くに望む岩木山もより一層美しく見えました。

「桜の次はりんご」です！



地域医療連携係：工藤 真淑

春の叙勲



当院元事務部長 野崎健一 様が、平成24年4月29日に「瑞宝双光章」を受賞されましたのでご報告いたします。

野崎健一様は、厚生省に奉職してから国立医療機関の発展に一途に尽くされ、地域医療発展に貢献されました。

長年のご功績に敬意を表し、心からお祝い申し上げます。

管理課長：加藤 久弥

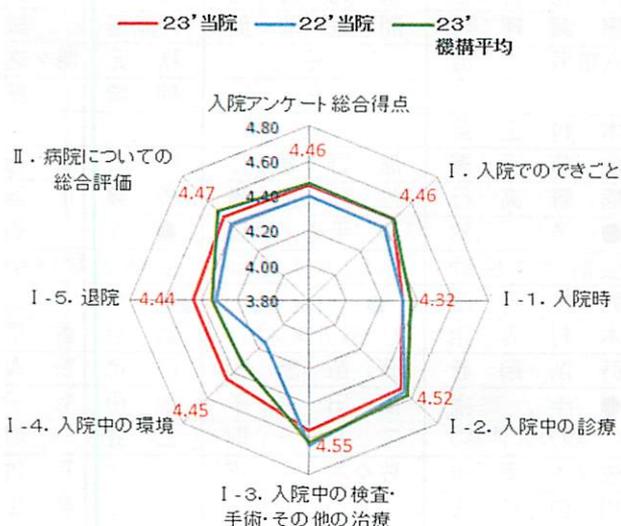
平成23年度患者満足度調査結果から

このたび、例年国立病院機構全病院で一斉に行われている患者満足度調査（入院は平成23年11月1ヶ月間、外来は11月1日（火）・2日（水）の2日間）の結果が報告されました。各調査項目は5段階評価（5点満点）ですが、当院の評価点数は、入院全体平均が4.46点、外来全体平均が3.88点で、当院と同じ国立病院機構内の同規模病院（22施設）で見ると、入院は15位、外来は17位となっています。入院では、平成23年10月に新病棟が完成したことや入院中の環境改善についての取組を行ったこともあり、入院中の環境・退院の項目で好評価をいただきましたが、その他の項目では機構病院平均以下の評価が多くあります。

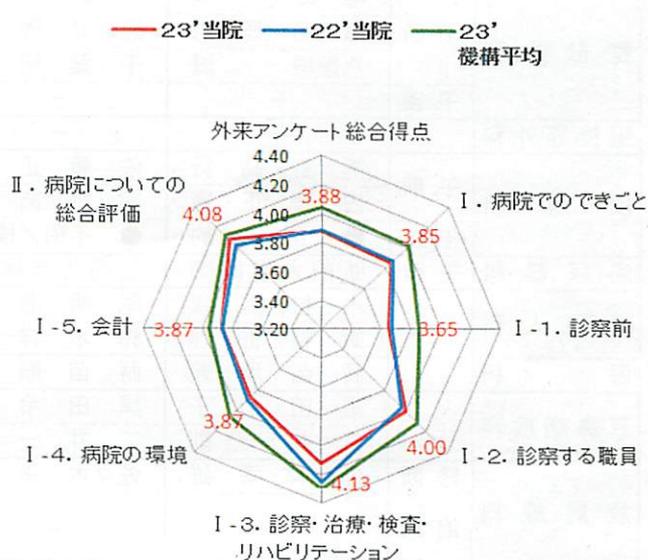
外来では各項目とも機構平均以下となっており、特に診察までの待ち時間や待合室の環境を不満に思うなど診察前の項目が低い評価となっています。また、入院・外来ともに診察や検査、受付手続き時の説明についての不満、態度や言葉遣いへの不満など接客対策も必要と考えられます。

当院では、医療サービス向上委員会が中心となり毎月退院時アンケート調査も実施しており、問題点の洗い出し、改善策の検討を行っているところですが、当院を利用される患者・家族の皆様に満足いただけるよう、引き続き医療サービスの向上に努めてまいります。

入院総合評価比較



外来総合評価比較



経営企画室長：佐々木 和久

第77回市民講座『メンタルヘルスについて』



平成24年5月30日（水）に第77回弘前病院市民講座が開講され、弘前大学附属病院神経科精神科の田中治先生が「メンタルヘルス」についてお話されました。

「メンタルヘルス」の目指すことは様々なストレスから心（精神）を守ること。そのため、今回のお話はストレスに身体が対処できなくなった結果としての「うつ」が中心になりました。

「うつ」は「薬」「考え方」「過ごし方」によって治療され、多くは治癒しますがそれにはこれらの治療法の適切なバランスが重要とのこと。この中で「過ごし方」の基本は「うつ」になったという事実を受け入れること。「考え方」の基本

はストレスになる事柄を前向きに、感謝する視点で考えてみること。

もし誰かが「うつ」になったら、本人も周囲の人も「『うつ』を絶対に治すんだ！」ではなく、焦らずにどっしりと構えて治療に取り組むことが大切なようです。これまでの負担のかかっていた生き方を見つめ直して、負担のかからない新しい生き方を発見することが「うつ」の治療にも予防にも大事なことで、先生は結んでおられました。先生ご自身やご家族の体験をまじえたお話はたいへん分かりやすく、よい勉強になりました。

第77回 国立弘前病院市民講座

メンタルヘルスについて

弘大病院神経科精神科医師
田中 治 先生

日時：平成24年5月30日（水）17:40～18:40
場所：弘前病院地域医療研修センター
どなたも自由にご参加ください

弘前病院教育管理委員会

臨床研究部長：泉井 亮

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2012年6月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹	熊本秀樹
呼吸器科		山本勝丸	中川英之	中川英之	山本勝丸	中川英之
		下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子
消化器・血液内科		間山恒	-	-	間山恒	間山恒
		松木明彦	五十嵐崇徳	五十嵐崇徳	-	五十嵐崇徳
		佐藤年信	-	佐藤年信	松木明彦	佐藤年信
		石黒陽	石黒陽	-	石黒陽	石黒陽
小児科		三上珠希	野村由美子	杉本和彦	野村由美子	野村由美子
		杉本和彦	佐藤工	三上珠希	佐藤工	杉本和彦
		伊東竜也	千葉友揮	-	千葉友揮	伊東竜也
外科		田澤俊幸	高橋克郎	田澤俊幸	高橋克郎	三上勝也
					三上勝也	
乳腺外来		小田桐弘毅	小田桐弘毅	小田桐弘毅	-	小田桐弘毅
整形外科	午前	柿崎寛	柿崎寛	秋元博之	秋元博之	柿崎寛
		黒瀬理恵	黒瀬理恵	黒瀬理恵	間庭敬一郎	八重垣誠
	午後	八重垣誠	千葉紀之	八重垣誠	-	秋元博之
脳神経外科		-	-	木村正英	-	-
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
	午後	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
泌尿器科	午後	● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
産婦人科		弘前大学医師	弘前大学医師	弘前大学医師	弘前大学医師	弘前大学医師
眼科		木村秀崇	尾崎浩士	鈴木洋一郎	● 妊婦健診 (一般外来休診)	尾崎浩士
		飯野香理	鈴木洋一郎	木村秀崇		飯野香理
耳鼻咽喉科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
放射線科	診断	黒田令子	黒田令子	● 手術 (一般外来休診)	黒田令子	黒田令子
	治療	二井一則	二井一則	二井一則	二井一則	二井一則
女性専用外来		佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
セカンドオピニオン		-	-	川口英夫 (午後)	-	川口英夫 (午後)
		杉本 菜穂子(※予約制/第1・第3火曜日午後診療)				
		-	-	-	今 充	-

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

旅靴に ちょっと一言 検査に行く

(浪岡ひろし)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満なこと』『ご批判やご指摘また、お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構 弘前病院

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地

TEL 0172-32-4311

FAX 0172-33-8614

責任者：臨床研究部長 泉井 亮

URL <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>